

		<様式11-1>	
令和7(2025)年度		学童クラブ事業年間活動報告書	
		市原野児童館	
	活動の基本目標(指針)	主な取組名	成果と課題
生活 援助 機能	安全・衛生の確保	手洗い・手指の消毒	昼食・おやつ時の手洗いは必ず職員が手洗い場についてきれいに洗っているか確認をしていた。外遊びから帰ってきたときなどは自主性に任せていた。今年度は「職員もハンカチを持ってきてるんだよ」ということをアピールしていたので、以前よりハンカチを持ってくる児童が少し増えた一方、持ってこない子はずっと持ってこないということが続いている。冬場の手洗いは水が冷たいので嫌がる児童の姿が見られた。
	健康の管理・情緒の安定	挨拶の励行	登下館の挨拶を職員から元気にすることで、子どもたちからの自然と大きな声で返してくれた。また、保護者の方への挨拶も丁寧に大きな声ですることになっている。その中で信頼関係が生まれ、みんなが話しやすい空間作りができていた。今後も職員が元気な挨拶ができるよう日ごろから意識していく。
		昼食後のおなか休め	土曜日・長期休業中に実施。土曜日は座ってできる遊びをするよう促して、レゴやLAQ、DVDを見て過ごしている。長期休業中は、DVDを見る部屋と寝る部屋の2つに分けて、各児童の好きな方で過ごしてもらおう。この時間は不満がでやすかったが、選択肢を与えたことでその不満が減った。
		おやつを提供	子どもたちの反応を見ながら、おやつ時間が楽しくなるように心掛けた。今年度から消毒スプレーを児童の使用を禁止した。おやつ後の机拭きはそのままつづけているが、食べカス等を拭きながら床に落とす姿もあり、ゴミ箱にいれたり布巾で上手に拭くように指導している。アレルギーには細心の注意を払っている。アレルギー対象児童も自分が食べてはいけないものをしっかり理解している。
	基本的生活習慣の確立	整理整頓・道具、おもちゃの片付け指導	おもちゃの片づけができていない多くが、一緒に遊んでいた友だちが先に帰って残った友だちが“自分たちじゃないから”と言って片付けなかったり、友だちに別の遊びを誘われて片付けずにそのまま放置というパターンだった。気づいて片づけに来る児童もいるが数は少ない。ただ、子ども中には通りすがりでブロックなどを片付けていく子もいて、そんな時はおいにほめる。そうすると、周りにいた数人も気づき一緒に片付けられる姿が増えていった。なので、自分の使った分の片付けというより、いつも自分たちが使う部屋がいつも整頓されていることが素敵なことだと感じるようにこれからも指導していく。
		持ち物の自己管理	水筒、靴下を置き忘れていることが多い。上記の“整理整頓”などにもつながってくるが自分の物はロッカーにいれる。忘れ物がないかを確認する等ができていくように指導していく。
		学習の時間	長期休業中に実施。9:10~9:50の40分間おこなった。学校や塾の宿題、家からもってきたぬりえ・本などで静かに座って過ごす時間となっており、この時は児童館からの貸し出しは基本的に不可としている。(ぬりえをするための色鉛筆等)家から持って来たものが破損した等でトラブルはまだない。ある程度は児童の自由にさせるつもりだが、トラブルになりそう・なった場合は適宜、対応していきたい。平日の時間は各自、好きなタイミングで宿題をしている。17:00以降のお迎え時に遊んでから宿題をして保護者を待たせる姿もあるので、先にやるよう声をかけていく。
	社会生活技術の獲得	夏休み高学年の取り組み	長期休業中、お昼ご飯後に4年生以上に各部屋の掃除をしてもらっている。掃除場所が汚かった時に高学年がもっとキレイに使うよう・片づけるよう声をかけている。口調が激しい時があるのでその際は高学年に指導しているが、低学年も少しずつ気づいてもらえると嬉しいと思う
	当番活動	「帰りの会の司会」「長期休業中の昼食の準備」を主に行ってもらった。帰りの会では、司会をしてもみんながだらだらとしているせいで、きているみんなもだらけることが頻繁だった。来年度は司会の担当になればしっかりと役割をこなすというのを第一に短い帰りの会を引き締めていけるように工夫していく。また、長期休みの時の児童館内の整理整頓と食事、おやつ準備に関しては班ごとにそれぞれが意識を持ち出来ていた。	
子ども 育成 機能	生活体験の拡大	児童館ツアー	1年生に児童館にはどのような部屋があるのかを紹介し、理解を深めてもらうことができた
		いもほり	児童館の畑で育てていたさつまいもの収穫をする。希望者のみの参加となつて、手伝ってくれた児童にはさつまいものプレゼントする。
		修了制作	思い出カルタを実施。それぞれの1年間の思い出をカルタにして、完成後しばらく遊戯室の壁に展示する。子どもたち同士で自分が書いた絵がどれか等を話をして盛り上がっていた。その後は目的通りカルタとして使う。
		全体班会議	定期的に班替えを行い、新しい班のメンバーで班長・副班長・班の名前を決めてもらう。各班の班長・上級生が話を進めながらみんな決めていくことができた。
		班あそび	4月初旬に実施。新しい班に新1年生が入り班ごとにみんな遊びをする。班同士の交流の時間となった1年生が過ごしやすくなるため2年生上の児童も一緒にゲームを楽しむ。昨年度に続き、1週間ほどの期間だったが「長い」と不満の声もあったので次回は改善する。

子ども 育成 機能		おたのしみランチ会	今年度は6月に“A-COOP”いなりずし&てんぷら、7月・3月に“ブレーメン”のパン、8月・11月に“かまどや”のおべんとう、12月に“ナポリの窯”のピザを実施。児童全員が食べられるようなものを意識して注文した。どの昼食も好評だった。
	社会性の養成	お誕生日会	今年度はお誕生日カードに書いてあることをあてる3択クイズをと質問コーナーを行う。子どもたちの知らないところを知るきっかけになった。昨年度はお誕生日階の中で、みんなあそびを行っていた月もあったが、“レゴとか外遊びの時間がほしい”という意見もあったのでみんなあそびの実施はほぼなかった。結果、児童の時間は昨年より増やすことができ、お誕生日会に時間で不満に思う声は少なかった。
		“ようこそ新入生”に向けた取り組み	高学年を中心に新1年生に向け、お祝いの「プラ版づくり」を実施。作業時間短縮のため全員同じ絵にする。その中で色を変えたり顔の表情を変えたりなど、高学年の工夫する姿が見られた。
	自立の促進と自主性の尊重	ようこそ新入生	入会式。各学年に役割を持たせ、2年生は1年生と入場。3年生はお祝いの言葉。4年生以上はプラパンの作成とプラパン渡しをする。あたたかく新1年生を迎える気持ちは皆にありいい式になった。来年度もアットホーム感のままみんなて迎える入会式になるように作り上げたい。
		小学校150周年まつりに向けた取り組み	今年度は小学校に協力し、小学校150周年まつりに合同参加する。ステージのダンス発表をする。当時のこどもの流行や知っている歌を参考に曲と振り付けを決めた。本番では、前に出て堂々と踊る姿が見られた。児童館としてはあそびコーナーを展開した。
	修了式	修了生の入場からはじまり、証書授与、館長からの言葉、修了生の入会の時の写真を見てインタビュー、みんなからの歌のプレゼントなど楽しく過ごした。新しくしたことは修了証書を花束風にして中を開くと思いの写真やメッセージ、修了証書と一緒にしたのし、飾ってもらえる形にした。最後はみんなとハイタッチしながら退場し祝福の中、児童館にお別れをした。来年度も子どもたちの心に残る修了式になるようにアイデアを考えていきたい。	
子育て 支援 機能	子育てに必要な情報の提供と交換	保護者懇談会	年に4回実施（4月・7月・12月・3月）。子どもたちの児童館での様子をスクリーンで鑑賞しながらの説明や、今後の予定についてを案内する。保護者同士の少ない顔合わせの行事なのでできるだけ多くの保護者に来ていただきたくあまり長い時間にならないように配慮もした。4月と3月の懇談会の時には終了後に保護者会の総会も行う。
		個人懇談	5月（新入生のみ対象）と12月（希望者のみ対象）で行った。さくらdaysのアンケート機能より出欠をとった。希望者のみで行ったことにより、普段あまり話せなかった保護者ともゆっくり話す機会を設けることができた。
		入会説明会	夜、遊戯室にて開催する。多くの世帯が新1年生になる児童をつれての参加となった。児童も遊戯室にいらったが、おもちゃやソフトつみきを出したりして騒がしい状況だった。次回は子どもたちは別の部屋で預かるか、ソフトつみきをあらかじめ片づけておく。
		学童クラブ登録前説明会	19時～20時に開催する。多くの世帯参加。告知の仕方にもう少し工夫が必要だったように思うので改善していく。
	子育ての仲間づくり	保護者協力	夏祭り、川あそび、市原野小学校150周年まつり、なかよし卓球大会引率、ドッジボール大会引率を協力してもらおう。日頃の子どもの様子や職員への対応を保護者に知ってもらおう機会になった。
	子育てを支えるネットワーク形成		